

CSW インターン募集

2014 年国連女性の地位委員会(CSW)へ 派遣する女性インターン募集



特定非営利活動法人日本BPW連合会

日本BPW連合会では、国際問題に関心を持つ大学生または30歳以下の女性を対象に、毎年2月から3月にかけて、ニューヨークの国連本部で開催される、女性の地位委員会(CSW)に派遣するインターンを募集しています。これは、日本BPW連合会が加盟するBPW International(BPWI)が、国連の「諮問的地位」を有する団体であることにより、初めて可能になるもので、2003年に第1回のインターン派遣が行われて以来、今回は第11回の派遣となります。

2014年派遣インターン募集要項

- 募集目的** 国際問題・国連問題に関心を持つ、あるいは将来その方面で活躍したいと願う若い女性を支援する目的で行われるもので、国連本部内及びその周辺で行われる様々な関連行事への参加を通して、若い世代の国際的な感覚・知識の育成を目指しています。尚、現在国連本部ビル改築中のため、国連本部での予定については、変更の可能性があります。
- 毎回主要テーマが設定されますが、第58回女性の地位委員会のテーマは、「2000年に採択された『女性及び女兒に対するミレニアム開発目標』の成果(Achievement)と課題(Challenge)」です。
- 期 間** 2014年の第58回国連女性の地位委員会は3月10日(月)から3月21日(金)にかけて、2週間の日程で開催されます。事前のイベントなどの都合で、開始前の土曜日に到着するのが好ましく、滞在は10日以上を期待します。

6つの特典 ● CSWの会議と平行して行われる様々なイベントやワークショップに参加し、発言し、意見を述べるすることができます。(一部有料)

- BPW インターナショナル主催の各種活動(ワークショップ、交流会、夕食会など)に参加して、各国のBPWIメンバーと交流ができます(有料部分はBPW一部負担)。
- 国連やCSWに関する説明や解説を事前あるいは現地で受けることができます。
- 日本政府代表部がおこなう公式説明会に参加できます。
- 世界各国の女性団体の方と交流できます。
- 国際関係・女性問題関係を専攻する女子学生には、論文作成などのための最前線の資料が入手できます。

- 募集対象** 国際問題、女性問題、国連に関心を持つ大学生、または30歳以下の女性、若干名(3~4名)
帰国後、報告書を日本BPW連合会に提出していただきます。また、ヤングBPWのメンバーとしてBPWの活動に参加していただきます。
- 費用** 航空運賃・宿泊費・生活費は自己負担。但し、登録料及びBPWが行うイベント(夕食会他)への参加費の一部はBPWで負担します。
- 応募方法** E-mailにて、応募必要事項記載の上、小論文(応募動機および国際問題・女性問題・国連に関するあなたの意見を日本語および英語で述べて下さい。(日本語で1000字前後、英語で500word以内)を添付の上送信。
- 問い合わせ** csw2014@bpw-japan.jp(日本BPW連合会インターン担当)件名「UN-CSW インターン」と記載してください
- 応募〆切** 2013年9月30日(必着)※延長いたしました
- 結果発表** 2013年10月5日(応募者の方にE-mailにてお知らせします)※〆切延長に伴い変更いたしました

BPWとは? Business and Professional Womenの略で、日本BPW連合会は、職業を持つ女性たちの地位向上をめざして、女性に対する差別をなくすこと、そして世界の持続可能な開発と平和にむけて、国内及び国外の働く女性と共同して活動することを目的とするNGOです。日本BPW連合会が加盟するBPW Internationalは、国連の経済社会理事会の諮問機関として一般協議資格をもつNGOで、世界の100近い国と地域が加盟しています。

日本BPW連合会は1958年に創立。現在20の地域単位のクラブ・アソシエーツで構成され、各クラブは、BPWIの方針に添って統一テーマを基本に、独自の活動及び情報の交換や交流も活発におこなわれています。毎年6月には、BPW全国大会を開催し、ヤングスピーチコンテスト最終選考大会や、働く女性に関するワークショップなどを行っています。その他、内閣府男女共同参画局との共催シンポジウムなどを実施しています。2009年9月に法人化し、特定非営利活動法人日本BPW連合会となりました。

問い合わせ & 応募先	E-mail	Csw2014@bpw-japan.jp(日本 BPW 連合会インターン担当) 件名「UN-CSW インターン応募」と記載してください * お問い合わせ及び応募は上記 e-mail にて受付しております。
応募方法	応募メール への必須情報	氏名 / (ふりがな) 住所 〒 / 連絡先 電話 / メールアドレス 生年月日 19 年 月 日生 所 属/大学(学部・専攻)又は職業 履歴 高校卒業以後の履歴(学歴・職歴等) 滞在可能期間(予定) 備考 応募にあたって、疑問点などあれば、お書き下さい。 応募メール本文または、添付フィアルに記載願います
	添付書類	小論文「応募動機及び国際問題、または女性問題、あるいは国連に関する意見」 日本語で 1000 字前後、英語で 500word 以内 ※日本語・英語の両方の論文を (word あるいは text ファイルでメールに添付) して 提出して下さい。
参考		募集要領・メールフォームは、下記にも掲載します http://www.bpw-japan.jp/japanese/csw.html
		http://www.bpw-japan.jp (日本 BPW 連合会) www.bpw-international.org (BPW International)) * BPW 詳細についてお知りになりたい方はこちらのホームページをご覧ください

CSW-インターン参加者の声 (2013年10期生報告書からの一部抜粋)

■2週間のインターンを通して感じたのは、様々な問題が存在する中で、その状況を変えていこうと行動を起こしている人々がここに集まっているのだということだった。NGO で活躍している人々は問題を一気に解決しようとしているのではなく、問題解決への第一歩となるようきっかけを作り、アクションを起こそうとしているということである。政府は、プレミアム開発目標のような見通しを立てることが多いが、NGO は、たった今起こっている問題を、たとえ小さくても、着実に実行しているように感じた。政府と NGO の協力の必要性は、多くのパラレルイベントで訴えられていたが、「地道な行動」無くしては「全体的な目標」に近づくことはできないのだから、両者の協力は大切であることを実感した。

■女性問題について話し合う、というテーマは出国前、私にとっては少し重たいテーマのように感じていた。しかし、それはただの社会問題の切り口に過ぎない。世界を見てから、日本を振り返ることで様々な問題に気づく視線を持つことができた。特に日本は、ジェンダーに関しては世界、ましてアジアでは最低レベルであることが分かった。まず、世界の問題を調べる前に日本のそのような点を歴史的観点や意識の点で研究してみたいと思った。
また、NY では、国際連合で働く方、外務省の方、NGO の方、同世代のインターン生などを通じ、刺激にあふれた2週間を過ごすことができた。具体的な将来像が少し見えてきた気がする。私の人生の中で、このタイミングでインターンに参加でき、様々なことに触れられたことは、本当に価値観や将来への大きな影響をいただいたと思う。

■今回のCSW57は、「女性と女兒に対するあらゆる形態の暴力の防止と撲滅」というテーマただだけに、皆からの期待がとても高いということを感じ、それに向けての実施へのギャップがあることを感じた。・・・途上国でも先進国でも女性に対する暴力は問題であり、この問題に対する標準・基準というものが大事になってくる。今まで制度的変化としてあったものは、予算、法律インフラや公的サービスの充実などである。この問題は男の人たちもちろん内部に関わる問題であり、彼らがどうこの問題にかかわった人たちをいやす問題である。・・・初日のブリーフィングでは世界各地からの参加者がいたので、彼らの言葉で現状や変化を聞いたことが置かった

■今回インターンとして参加して、一番感じたのは発展途上国の力強さでした。CSW のイベントでは多くの国が集まり様々な女性問題について現状に触れることができました。その多くは日本では知りえなかったことで本で読むのとはまた違う、リアルでとても近い存在に感じました。そのなかでも、発展途上国やまだ古い風習が強く残っていて私たちの考える「普通」が普通としてとらわれないような国の発表はとても力強く、心に深く入ってくるものがありました。言葉が不自由な音緒影響して母国語で話す彼女らの言葉は、その意味はわからなくともその力強さに巻き込まれ、気づけば目頭が熱くなることが何度もありました。